



2013年12月17日

報道関係者各位

慶應義塾大学

【記者発表のご案内】

無線で力触覚を伝える「フォース トランシーバー」の開発に、世界で初めて成功

慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科の大西公平教授の研究グループは、フォース トランシーバー（無線による携帯型力触覚通信機）の開発に世界で初めて成功しました。このフォース トランシーバーを用いると、送受信者による二者間の力触覚通信が可能になるばかりではなく、力を感じる遠隔操作も可能になってきます。

フォース トランシーバーはコンピューター、モーター、バッテリー、無線送受信機を完全内蔵しており、高い利便性と携帯性とを兼ね備えています。高機能コンピューター制御により、動きの情報や力の情報をそのまま相手に伝えるばかりでなく、それらを増減して伝達することも可能です。例えば、遠隔操作において人間の動きを縮小して伝達し、触れた力を拡大して人間に伝達すれば、人間以上の繊細な動作が可能になります。また、送受信された力触覚情報は内蔵された記憶媒体（SD カード）に保存が可能です。

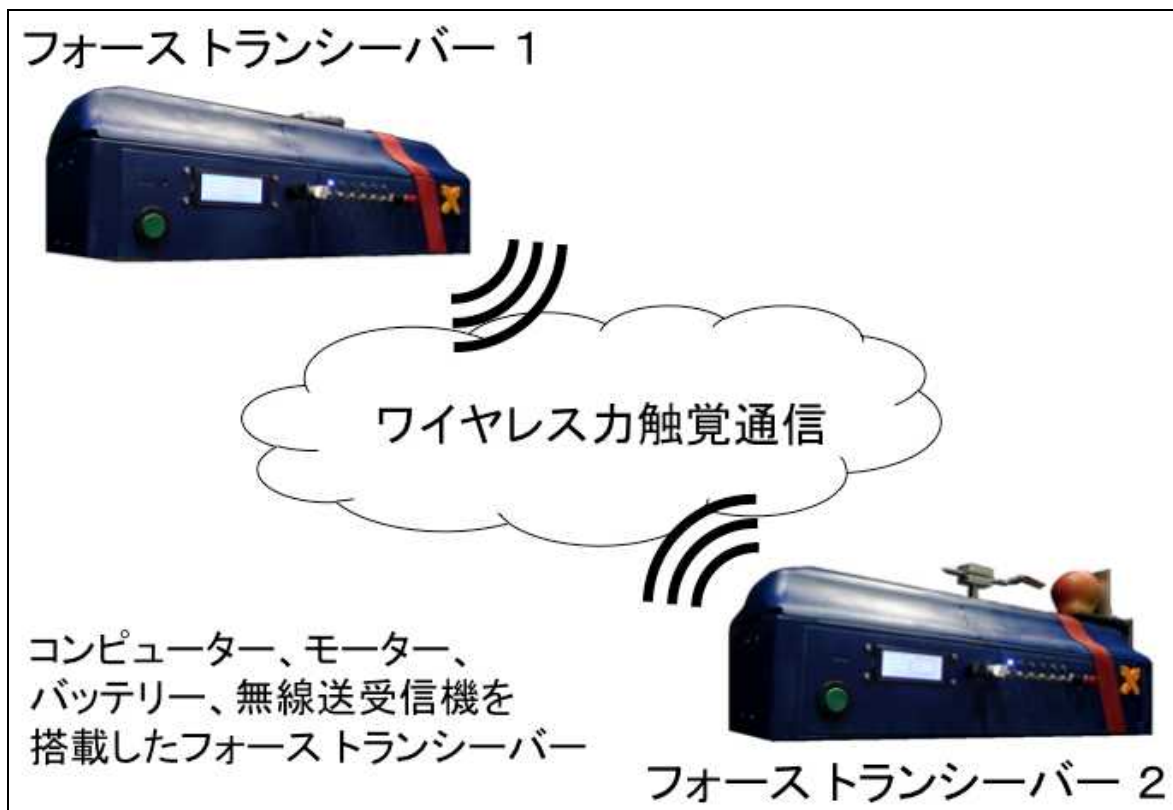
このような力触覚通信は、ラジオ、テレビ、携帯電話等の視・聴覚通信に続く第三のマルチメディアとして、幅広い分野への活用が可能であり、その開発が長い間待たれておりましたが、今回、世界で初めて実機の試作に成功したものです。本研究の記者発表を下記の通り開催し、開発したフォース トランシーバーの公開ならびにデモンストレーションを行いますので、ご取材くださいますようお願い申し上げます。

【記者発表】

1. 日時：2013年12月20日（金） 10:00～11:30（受付 9:45 開始）
2. 場所：慶應義塾大学 矢上キャンパス 創想館7階 フォーラム
〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1
<http://www.st.keio.ac.jp/>
3. 内容：(1) 開発した「フォース トランシーバー」の概要 (10:00～10:30)
(1) 原理のご説明
(2) 力触覚通信機のご説明
(2) 実機によるデモンストレーション (10:30～10:50)
(3) 期待される応用分野 (10:50～11:00)
(4) 質疑応答および実機体験 (11:00～11:30)
4. 説明者：大西 公平（慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授）

5. その他

- * ご取材の際には、12月19日(木)正午までに下記広報室へご一報ください。
- * 必ずお名刺をお持ちください。
- * 今回のデモにおきましては下図のような実験を行います。



<フォース トランシーバー 1>を操作して<フォース トランシーバー 2>を取り付けたフォークを動かし、リングを突き刺すデモンストレーションの様子。
操作者には、<フォース トランシーバー 1>のレバーを通じて、フォークの先がリングに触れた感覚や、刺した際の抵抗などの力触覚が伝わる。

本リリースは文部科学省記者会、科学記者会、各社科学部等に送信させていただいております。

1. 本プレス発表の内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授 大西公平 (おにし こうへい)
TEL : 045-566-1726 FAX : 045-563-2754 E-mail : ohnishi@sd.keio.ac.jp
研究室 HP : <http://www.sum.sd.keio.ac.jp/>

2. 本発表資料に関するお問い合わせ・記者発表ご出席の連絡先

慶應義塾広報室 (渡辺) TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640
E-mail : m-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.keio.ac.jp/>